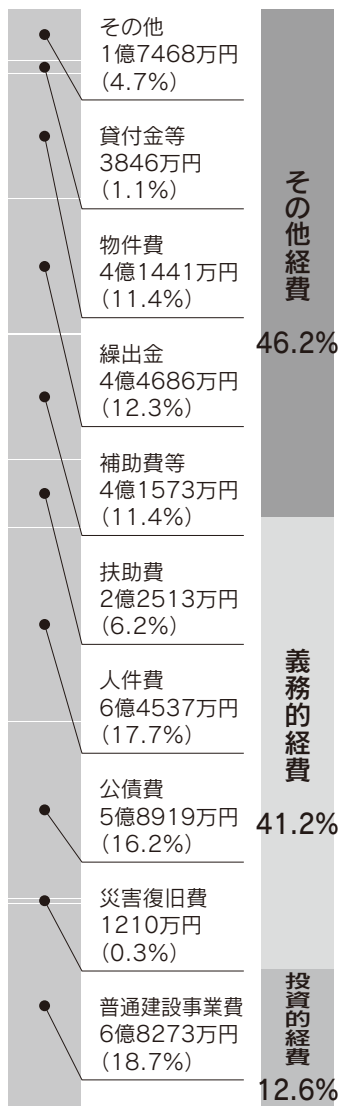


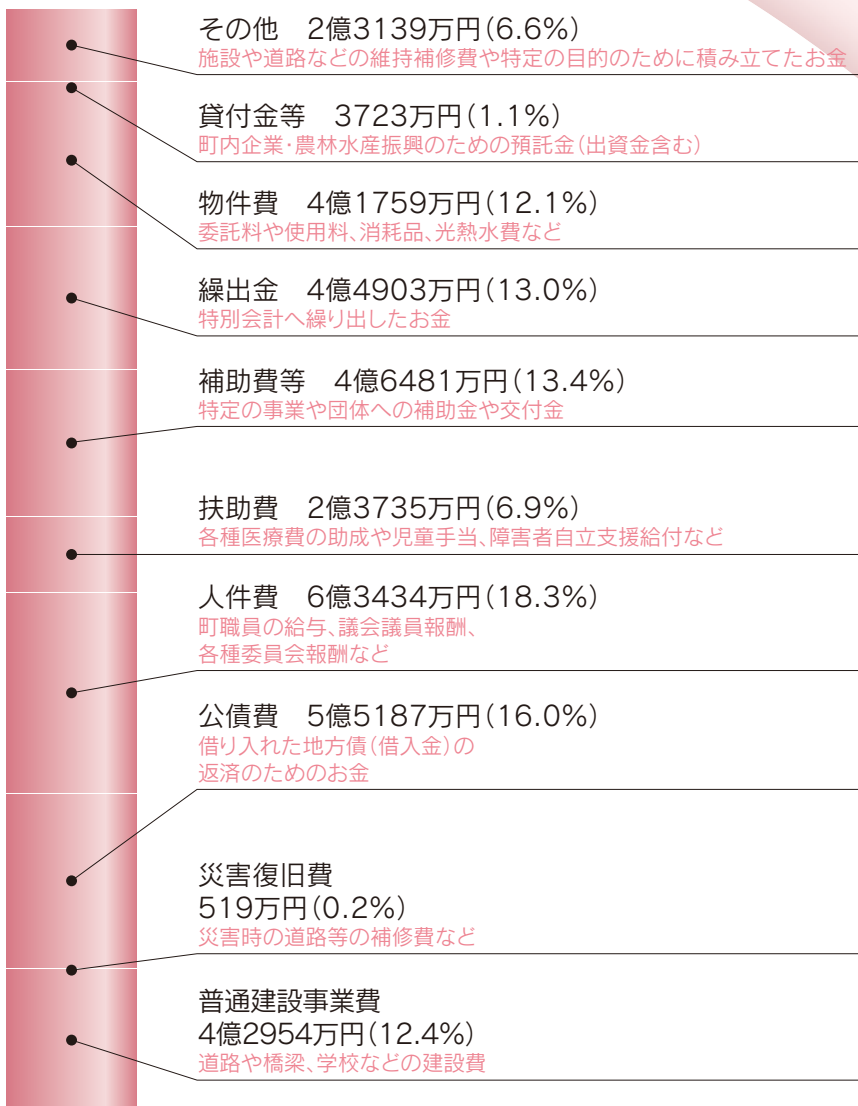
平成24年度の南木曾町一般会計（平成23年度繰越分を含む）・特別会計の決算が、9月の定例議会において認定されました。一般会計の決算総額は、歳入35億7039万円（前年度比5.3%減）、歳出34億5834万円（5.1%減）で差引き1億1205万円となりました。

差引額から繰越事業に係る財源を除いた実質収支は6730万円となり、このうち3500万円を決算積立金として財政調整基金へ積み立てました。この結果、3230万円が25年度への純繰越金となります。

23年度 歳出 36億4466万円



24年度 歳出 34億5834万円



一般会計

歳入

一般会計の歳入の内、もっとも大きな比率を占める地方交付税は、特別交付税の減などにより565万円の減となりました。町税については、固定資産税の評価替えによる減収などにより477万円の減となりました。国県支出金については、国の経済対策による交付金の減などにより1億1107万円の減となりました。

地方債では、地方交付税の不足分を補う臨時財政対策債を財政見通しにより昨年度と同様に発行を抑えました。また、小学校改築事業の終了により8140万円の減となりました。

歳出

歳出については、高齢者グループホーム整備補助金などにより補助費等が4908万円の増、減債基金、子育て基金及びユアアイ住宅基金への積み立てなどによりその他の支出が5671万円の増となりました。また、繰上償還及び借入の抑制により公債費は3732万円の減、小学校改築事業の終了により普通建設事業費が2億5319万円の減となりました。

主な事業

平成24年度は、過疎対策事業で町道大原線他の改良、南木曾駅前広場へのトイレ整備、消防車両の更新等を行いました。

平成24年度 決算状況

町の家計簿

24年度 歳入 35億7039万円

23年度 歳入 37億7149万円

使用料及び手数料等 2億2200万円(6.3%)
保育料や町施設使用料、証明手数料など

諸収入 1億1268万円(3.2%)
貸付金の元利収入など

繰入金 5516万円(1.5%)
基金の取り崩しや特別会計からの収入

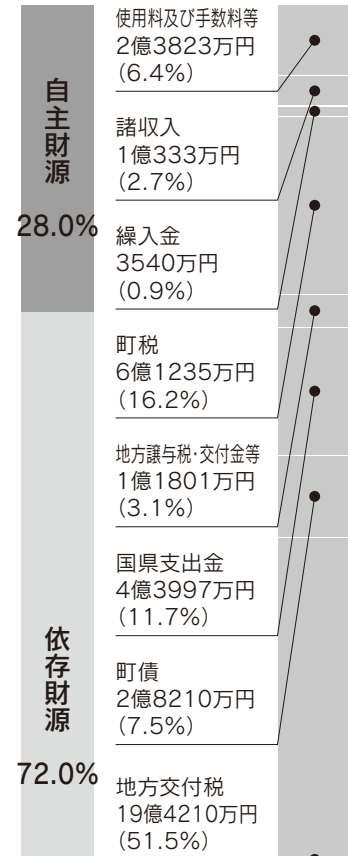
町税 6億758万円(17.0%)
みなさんから納めていただいた町民税や固定資産税など

地方譲与税・交付金等 1億692万円(3.0%)
税源移譲及び重量税・軽油税などを財源として地方に譲与されたお金

国県支出金 3億2890万円(9.2%)
特定の目的のために国や県から交付されたお金

町債 2億70万円(5.6%)
町の借金のこと。大規模な事業を行うため、国などから借り入れたお金

地方交付税 19億3645万円(54.2%)
町が標準的な仕事をする際に、不足する財源を町の財政状況に応じて国から交付されたお金



町税の内訳

税目	決算額
固定資産税	3億8750万円
町民税	1億9474万円
市町村たばこ税	945万円
その他	1589万円
軽自動車税	1054万円
入湯税	535万円
合計	6億758万円

特別会計決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業特別会計	5億887万円	4億6580万円
簡易水道事業特別会計	1億9472万円	1億9255万円
町営妻籠宿有料駐車場特別会計	5136万円	4463万円
下水道事業特別会計	6425万円	6379万円
農業集落排水事業特別会計	6802万円	6739万円
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	8727万円	8564万円
後期高齢者医療特別会計	7449万円	7243万円
合計	10億4898万円	9億9223万円

特別会計は7会計で、歳入の合計が10億4898万円、歳出の合計が9億9223万円でした。
主な事業は、浄化槽市町村整備推進事業特別会計で木曾川右岸地区及び三留野地区の浄化槽設置事業を引き続き実施しています。

特別会計

また、町長選挙を経て第3期宮川町政がスタートしたことから6月補正で単独の経済対策事業、保育園の耐震診断、18歳未満の医療費無料化事業などを実施しました。